

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問合わせ

0569-26-4888
新美南吉記念館
館長 遠山光嗣

令和5年3月16日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	新美南吉生誕 110 年！ 雁宿公園も開園 110 年！！ 南吉の命日を前に雁宿公園でネイチャーゲーム開催
日 時	3 月 21 日（火・祝）10 時～12 時、13 時～15 時
場 所	雁宿公園 北エリア（半田市雁宿町）
主催者	新美南吉記念館
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴のこと）
趣 旨 （目的）	今年生誕 110 年の新美南吉は、間もなく 80 回目の命日(3/22)を迎えます。半田市では南吉の命日を「貝殻忌」と呼んでいます。この名称は昭和 36 年に市内最初の南吉文学碑として雁宿公園内に建てられた「貝殻」詩碑に由来します。また、南吉が生まれたのと同じ大正 2 年に開園した雁宿公園も今年で開園 110 年です。これらのことを知っていただくと共に、緑豊かな公園で南吉童話にゆかりの植物を観察することで、郷土の自然と南吉文学に楽しみながら親しんでいただきます。
内 容	・ネイチャービンゴ……公園を散策しながら、「ちくちくするもの」「いいにおい」などビンゴの課題にあったものを探します。 ・ドングリを使った工作 ・貝殻笛づくり…南吉の詩「貝殻」に「かなしきときは貝殻ならそ」と詠われたハマグリの貝殻を使った笛を作ります。ブロックに根気よくこすりつけて穴を開けて作ります。午前午後各先着 30 名。 ※愛知県シェアリングネイチャー協会の協力で行います。
担当者 情熱メッセージ	・南吉は半田中学校（現半田高校）の放課後に雁宿公園を訪れて童謡を作っています。そのほか、代用教員時代の遠足や、無職だった頃の散歩でも訪れています。 ・雁宿公園は知多半島有数の桜の名所でもあります。間もなく開花しそうですから、桜の花の下でネイチャーゲームを楽しめるかもしれません。
別 紙	チラシ・参考資料「南吉と雁宿公園」
写 真	有 （貝殻詩碑や当日の様子など）

半田市企画課企画広報担当
0569-84-0605



<雁宿公園について>

- ・明治 23 年、第 1 回陸海軍連合大演習が衣ヶ浦一帯で行われ、明治天皇が雁宿の丘から演習の様子を統監しました。
- ・これを記念し、明治天皇崩御の翌年（大正 2 年・南吉が生まれた年）に雁宿公園が開園しました。

<南吉の日記より>

- ・「放課後、久米、金次、堅吉とつれだって、雁宿公園へ行った。そこで、余は、童謡「小山」を作った。」（昭 4.4.27 中学 4 年生 15 歳）
※「小山」がどんな童謡だったかはわかっていません。
- ・「課外運動は雁宿公園に行く。」（昭 4.10.8 中学 4 年生 16 歳）
- ・「くもってて、なまあたたかい、いやな日だが、遠足なのであった。（略）公園で休んでる時、女の子が、たくさんからまりついて来た。はじめからまりついてくる子は、よく出来る、そしてひか酷的裕福な家の子ばかりである。」（昭 6.4.18 代用教員時代 17 歳）。
- ・「風にあたって来いと父がいうので帽子をかむって出かけた。風は寒いがたえられぬほどではない。公園には誰もいなかった。火曜日の午前だから無理もない。所在なくてブランコにのった。」（昭 13.3.9 安城高女に勤務する前の無職の頃 24 歳）
※単に「公園」と書いていますが、おそらく雁宿公園のことと思われます。

<「貝殻」詩碑について>

- ・昭和 36 年、新美南吉顕彰会が建立。
- ・半田市内で最初の南吉文学碑。
- ・デザインは日展審査員の小田寛一（半中 1 回生）。
- ・ランプとカタツムリをかたどり、詩「貝殻」の一節を刻んでいます。



雁宿公園の「貝殻」詩碑